



2015年度も宣教支援センター支援献金へのご協力をありがとうございました。

総額で2,376,500円の尊い献金をいただくことができました。8年間のプロジェクトを支えるために大切にさせていただきまします。連合定期総会の議案書にて支援献金の会計報告をさせていただいております。どうぞご参照ください。

2016年度は宣教支援センター支援献金の目標を180口(1口月額1,000円×12か月)と定めて、引き続きのご協力、そして新規のご協力をお願いすることにいたしました。主事が礼拝出席や祈祷会出席で諸教会にお伺いさせていただくようになってから、宣教支援センターに親しみを持ってくださる方が増えてきているとの報告を受けています。また、連合の諸集會も参加者数が増えています。連合聖歌隊もその一例です。

教会元気プランの推進によって、運動の輪が、諸教会に広がっていくことを期待しています。

今年度も宣教支援センターの働きを覚えてのお祈り、お支えをよろしくお祈りします。

(運営委員長 山田雄次)



連盟全国支援・地域協働プロジェクト バプテスト北九州地方連合 宣教支援センターニュース 11号

発行責任者：山田雄次
発行所：〒805-0015
北九州市八幡東区荒生田 2-1-40
Tel&Fax：(093)651-6669
東八幡キリスト教会内
連合宣教支援センター事務局
発行日：2016年4月25日



いよいよ教会元気プランが動き始めます
教会おじゃまします 企救教会
教会おじゃまします 小倉春ヶ丘教会
宣教支援センター支援献金へのご協力を

写真：連合少年少女会 春の修養会より



行ってあなたも同じように 北九州地方連合青年会 会長
谷本咲太郎 (南小倉)

連合青年会には3つの大切にしていこうと考えていることがあります。それは①聖書と祈りに基づいた交わりをもつこと②教会に、そして連合に仕えること③社会の中で小さくされ、排斥されている人々の存在を知り、関わることです。今年度もこれらのことを念頭に置きながら、例会や修養会、そして連合との様々な関わりを持って、いきます。

さて、連合青年会の2016年度テーマは「となりびと」です。「『となりびと』とは誰か。どうすることが『となりびと』となることか」私たちは、この事から問われながら活動していきたいと思ひます。指針となるのはもちろんイエス・キリストです。イエスは当時、誰と・どのように関わったのでしょうか。今ここにイエスがいたとしたら誰と・どのように関わるのでしょうか。今日眠る場所がなく路上で過ごす人々や、今日食べるものがない人々、被災した人々、子どもたちや女性たち、差別をうけている人々と共にパンを分かち食事をともにして、いろんな話をしながら笑ったり泣いたり怒ったりしたのではないのでしょうか。また、手を伸ばし触れることで人々を癒したのではないのでしょうか。

イエスは「行ってあなたも同じようにしなさい」(ルカ10:37)と私たちを出会い・関わりへと促しています。私たちはその促しに背中を押され、改めて実際に出会い・関わりをもち、「となりびと」となることへと歩みだしていきます。

そして私たちが今年出会うかもしれない「となりびと」のすぐそばで、共に過ごしているイエスを見出す一年間としていきたいと思ひます。



編集後記

今回の編集をしている最中に、熊本地震が発生しました。北九州地方連合の諸教会からも、大分・別府地区を中心に被害の報告が寄せられています。余震が未だに続いています。最も小さくされている方々に、支援の手が差し延べられますようにお祈りします。

2016年度から、教会元気プランに取り組む二つの教会への主事の伴走が始まりました。防府教会、枝光教会に続く、第二段目、第三段目のロケットを打ち上げていきたいと思ひます。教会の側に立って共に喜び、共に悩むことのできる存在でありたいと願ひます。

下関教会が4月から泉選也牧師を迎えて、新しい歩みを始めました。心よりお祝ひ申し上げます。小倉・芦屋・別府国際の各教会に専任牧師が与えられるよう、引き続きお祈り下さい。

次回予告

巻頭言：連合書記 三上 渡牧師 (高須教会)
おじゃまします報告：八幡教会

5月・6月の予定

- 5月3日(火) 憲法フェスティバル (福岡) 14時
- 5月12日(木) 教会おじゃまします ~八幡教会 19時
- 5月14日(土) 防府教会共催 平和コンサート (防府市公会堂) 14時
- 5月16日(月) 連合牧師会・カリス会(直方) センター常任委員会(東八幡)
- 5月26日(木) 連合役員会(シオン山)
- 5月29日(日) センター運営委員会 (シオン山) 15時半
- 6月11日(土) 連合壮年会・神学校を覚える集會 (シオン山)
- 6月13日(月) 連合女性会総会・一日研修會 (北九州)
- 6月23日(木) 教会おじゃまします ~富野教会 19時
- 6月25日(土) 池田香代子さん講演會 (シオン山) 13時半



いよいよ教会元気プランが動き始めます

第一期 教会元気プラン推進教会 防府バプテスト教会

今号と次号の二回にわけて、2016 年度に教会元気プランの立案・実行に取り組む二つの教会の経過報告をさせていただきます。

今回は防府教会の「教会元気プランへの道」をご紹介します。

防府教会では「教会を何とかしたい」という思いから、2015年9月13日(日)に主事をファシリテーターに迎えて「教会形成懇談会」を持ちました(9名参加)。それぞれの率直な思いを分かち合う中で、求道者を含めた教会に連なるお一人お一人にお話を伺う必要があることを実感しました。

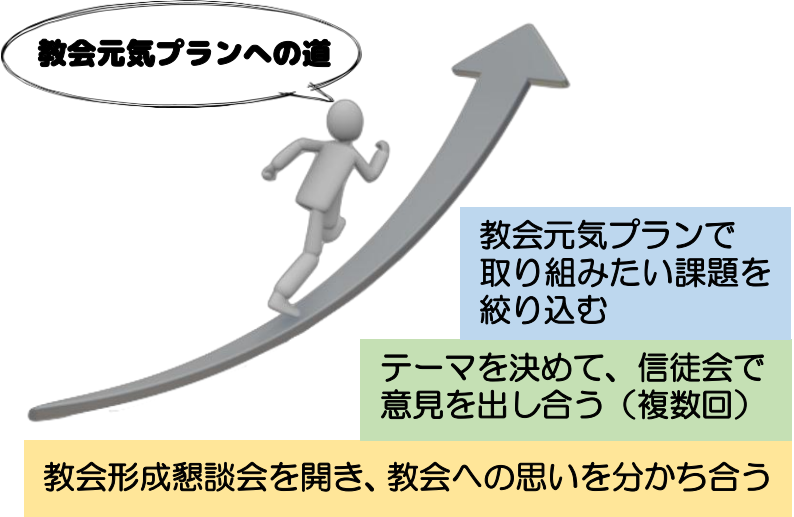
執事会の検討を経て、月1回のペースで主日の午後、「話そう会」を開くことになりました。12月6日「防府教会に対する思い」、2月21日「私たちの教会の使命とは何か」、3月27日「使命のことば化」と3回にわたって、熱く語り合ってきたそうです。

その中で明確になったことがあったと伺いました。それは、礼拝に出席したことがない方が聞いても伝わるような言葉で、防府教会の使命を言い表す必要があるということでした。それが定めれば、「どうして教会に戦争法反対のポスターが貼ってあるのですか？」と誰が尋ねられても、少しもぶれることなく答えることができます。それは教会メンバーが長い間求めてきていたことだったそうです。

そうは言っても多くて10数名の礼拝出席の教会です。発想の広がりには限界があります。主事といたしましては、教会元気プランがある程度まとまった段階で、防府教会のメンバーと諸教会に出向いて主旨を説明させていただき、センター主催の合同研修会のような形でご意見を伺うことを設けたいと考えています。

教会元気プランは、当該教会の皆さんが取り組むだけでなく、プランの中身を聞いて応答することで、諸教会の皆さんが隣人の出来事として共有することができます。そのことによって水たまりに波紋が広がるように、周りの教会をも動かしていくような運動になることを目指しています。どうぞ、防府教会のチャレンジを覚えてお祈りください。

【予告】次号では枝光キリスト教会の「教会元気プランへの道」をご紹介します。



第3回

企救教会を訪問しました

伝道委員会と宣教支援センターの共同企画
教会おじゃまします

3月17日(木)「教会おじゃましますプロジェクト」の第3回は企救教会におじゃましました。11教会から33名の参加があり、礼拝堂の席はほとんど埋まりました。

原田義也牧師は礼拝奨励の中で、牧師の駆け出し時代に、連合の働きで下関教会の菅原牧師(当時)を訪ねたときのエピソードをお話くださいました。2015年度は原田牧師が企救教会の牧師になってちょうど27年目にあたるとのことでした。

原田牧師より7名の企救教会の信徒の方々が紹介され、教会の歴史と共に、モノレールや道路の開通などによって、町が大きく開けていった様子を伺うことができました。

とりわけ話題になったのが、週報の祈禱課題に記されている「伝道所の夢」についてのお話でした。企救教会の礼拝に田川市から通って来られているご家族がおられるそうで、会堂建築が済んでからの新しい幻として伝道会所開拓を掲げて、祈りながら少しずつ献をしているとお話でした。今の新会堂も20年間の建築献金によって3年前に献堂されたとの事でした。いつか幻が現実になる事を期待しつつ。お世話になりました!



第4回

小倉春ヶ丘教会を訪問しました

4月14日(木)「教会おじゃましますプロジェクト」の第4回は小倉春ヶ丘教会におじゃましました。昼間の開催となりましたが、12教会から43名の皆様方が参加してくださいました。晴天に恵まれ、和やかな雰囲気の中での集会となりました。

金美蘭牧師は礼拝奨励の聖書箇所、2016年度の主題聖句に選んだローマ12:12を取り上げました。希望を失わずに祈り続けるとき、神様は私たちの思いを越えた出来事を起こしてくださいます。教会に30~40代の求道者の方々の求道者の方々が集うようになりました。その中の一人の姉妹が、昨年12月に若松区の海岸でバプテスマの恵みにあずかったのだそうです。

分かち合いでは、金美蘭牧師が韓国人として日本のバプテスト教会に仕えてくださっていることの恵みが語られました。世界宣教は日本から出かけていくだけでなく、私たちの身近なところにあるのだということを教えられました。



2名の教会員の方々との出会いもあり、出かけてきて良かったと思えました。今度は連合の諸集会で小倉春ヶ丘教会の皆様方にお目にかかることを期待しています。ありがとうございました。

